

あなたの相棒

ブリーダーとしてのプライド

お店に着くとかわいい子犬たちが私たちを迎えてくれた。店内にはおしゃれなドッグカフェやドッグランもあり、犬とふれあうことも出来る。もともと犬好きでブリーダーをしていたのがお店を始めたきっかけと話してくれた正義さん。どうしてミニチュアシュナウザーとトイプードル

の専門店にされたのか聞いてみた。

「たくさんの犬種を揃えて、そこから選んでもらうっていうのが普通のスタイルかもしれないけど、他のお店がやってないことをしようと考えて、あえて自分が一番好きな犬に絞って、今までの経験と知識を生かそうと思ったんです。この犬のことやったら、歴史から性格まで分かるし、お客さんのどんな相談にも乗れます。共通の特徴は、どちらも毛が抜けず、体臭がなく、頭がいいこと。性格は、ミニチュアシュナウザーは物静かで辛抱強い。トイプードルは人なつこく、さみしがり屋です」と教

えてくださった。

心がけていることは？と質問すると、「正しい知識をもって、生まれた赤ちゃんを大事に愛情をもって育てて、お客さんの所に届けるのがブリーダーの仕事。だからお店にいる60匹の犬たちは我が子のようにかわいがっています」とおっしゃっていた。

カーギーペットではトリミングやペットホテルなど、病気の治療以外は、どんな相談にも対応するサービスを行っている。ペットホテルは無菌状態にするなど、とにかく犬のことを第一に考えているのだ。正義さんは「飼い主も犬も、両方が幸せになれるシステムが大事。それをこのお店でサポートしていきたい」と話してくれた。

人間誰しも、大切な人・物・場所があるはず…。府立生野高校写真部の皆さんと一緒に、そんな誰かのかけがえのない「相棒」を紹介します。第18回目は、三宅東にあるブリーダー直販の販売店を営まれている「カーギーペット」代表の梶正義さんです。

相棒を尋ねると、「この子達です」

と「TT」と「シオン」という犬を連れてきてくれた。さつき私たちを出迎えてくれた犬たちだ。「この子たちはお店の看板犬としても活躍しているんですよ」笑って答えてくれた。2匹とも正義さんが大好きらしくずっと後をついて回っている。犬たちの様子が、正義さんの言葉を誰よりも証明しているなあと感じました。

文 岡本有希（1年）

※今回広報まつばらに載らなかった写真部が撮影した写真は市ホームページで見ることが出来ます。

